

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年1月4日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年1月4日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【6号機補助海水ポンプ(C)グランドリーク水が出ていないことについて】 当直員が補助海水ポンプの定例切替時に補助海水ポンプ(C)を起動したところ、本来、グランド部の過熱防止のため、グランドリーク水が出ているが、グランドリーク水が出ていないことを確認。 グランド部が過熱する恐れがあると判断し、当該ポンプを停止した。 現在は補助海水ポンプ(A)が運転中でポンプ(B)が予備のため、冷却系統への影響なし。 今後、当該ポンプのグランド修理・交換を予定。</p>	GⅢ	12月24日
2	<p>【5号機計装用空気圧縮機除湿装置(B)出口弁グランド部からの空気漏えいについて】 当直員が5号機計装用空気圧縮機除湿装置(B)出口弁のグランド部から微小の空気漏えいを確認。 空気漏えいは微小であり、計装用空気圧縮機の圧力及び供給設備への影響がないため、継続監視とした。</p>	GⅢ	12月24日